

令和 7 年 11 月 6 日
大臣官房技術調査課
総合政策局技術政策課

全国の地方整備局・研究機関職員等による研究課題発表を行います ～令和 7 年度 国土交通省 国土技術研究会を開催～

令和 7 年 11 月 27 日(木)、28 日(金)に、地方整備局、地方公共団体、研究機関等の職員により、「安全・安心」「活力」「イノベーション」等をテーマとした研究課題の発表を行います。

また、28 日(金)午後には、早稲田大学教授 土木学会第 112 代会長 佐々木 葉氏による特別講演を開催します。

- 国土技術研究会は、国土交通省所管の住宅・社会資本整備行政に係る技術課題等について、本省、特別の機関、地方整備局、北海道開発局、地方航空局、研究機関等が連携を図りつつ調査・研究を行い、議論を重ねることにより、技術の向上と行政への反映を図ることを目的として毎年開催しており、今年で 79 回目を迎えます。
- 全国の地方整備局等・地方公共団体・研究機関の職員が研究発表を行い、一般の方も会場又はウェブから聴講いただけます(事前登録が必要です)。
- また、SBIR 建設技術研究開発助成制度の成果等の報告を併せて実施します。

【開催概要】(詳細は別添参照)

1. 日 時 令和 7 年 11 月 27 日(木)、28 日(金)
2. 場 所 中央合同庁舎 2 号館及び 3 号館(東京都千代田区霞が関 2 丁目 1-2、1-3)(WEB 聴講可)
3. 内 容 11 月 27 日(木)【受付 9:15～ 発表 9:45～ 終了 18:15 予定】
自由課題(一般部門、イノベーション部門、アカウントビリティ部門)
11 月 28 日(金)【受付 9:15～ 発表 9:45～ 終了 16:35 予定】
自由課題(一般部門、イノベーション部門)、各局等提案課題、特別講演、表彰式
(両日とも SBIR 建設技術研究開発助成制度成果報告を含む)
4. 聴講・取材 聴講・取材希望の方は 11 月 21 日(金)18:00 までに下記 HP より事前登録をお願いします。
本研究会は、土木学会認定 CPD プログラムです。CPD の事前申請も HP で受け付けます。
取材における写真撮影の可否は、当日担当者の指示に従ってください。

令和 7 年度国土交通省国土技術研究会 HP: <https://www.mlit.go.jp/chosahokoku/giken/index.html>

<問合せ先>

大臣官房技術調査課 技術開発官 原、係長 小野

代表: 03-5253-8111(内線 22344、22384)、直通: 03-5253-8125

総合政策局技術政策課 専門官 齊藤、久良木

代表: 03-5253-8111(内線 25615、24295)、直通: 03-5253-8950



神戸港 鋼管杭打設



広島駅南口広場の再整備等



建設中の成瀬ダム

令和7年度 国土交通省

国土技術 研究会

参加
無料
事前申込制

開催日程

2025 11.27 THU 11.28 FRI

会場

国土交通省(中央合同庁舎2号館・3号館)

東京都千代田区霞が関2丁目1-2、1-3

オンライン同時配信

特別講演



日程

11.28(金) 15:00~16:00

講演講師

佐々木 葉氏

早稲田大学教授 土木学会第112代会長

講演テーマ

「インフラの広がりと風景」



南国安芸道路



福岡空港



首里城正殿本体の復元



国営常陸海浜公園

参加方法

事前申込の手続き・課題論文・
プログラム詳細、最新情報に
ついてはホームページを
ご覧ください。



主催：国土交通省



大河津分水路



シールドマシン発進



釧路西 IC

講演

『インフラの広がりと風景』

【日時】 11月28日（金）15:00～16:00



早稲田大学教授
土木学会第112代会長

ささき よう
佐々木 葉 様

●プロフィール

風景という切り口からまちづくりやインフラのデザインに関わる。大都市よりも地方の小規模なまちで実践的研究活動を重ねながら風景やデザインの意義を探究している。土木学会会長としては会員一人ひとりが「こうなったらいいな」を可能にするインフラとしての学会を目指した。

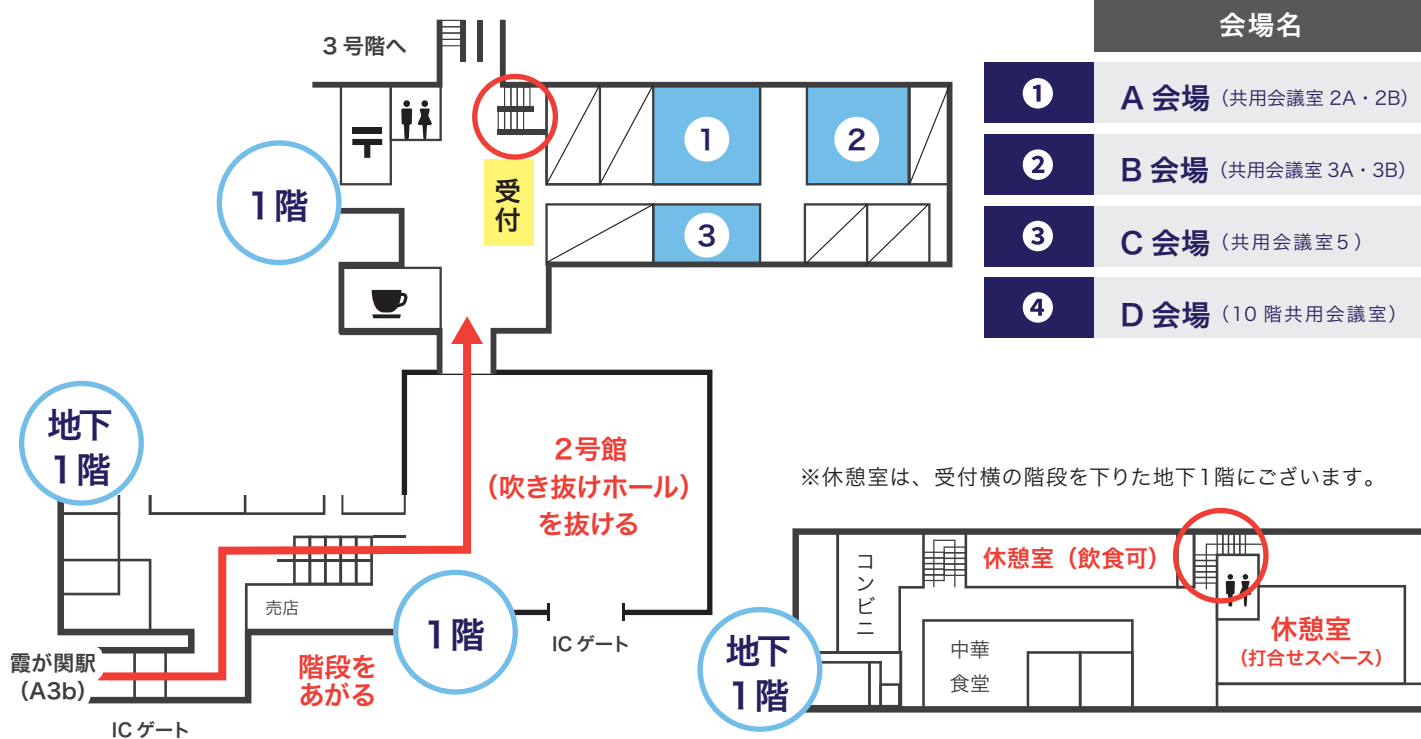
●主な経歴

早稲田大学建築学科卒業、東京工業大学社会開発工学専攻修了。
博士（工学）。2003年より早稲田大学教授。
専門は景観論・まちづくり・土木デザイン。
2024年6月から1年間公益社団法人土木学会会112代会長を務める。
NPO法人郡上八幡水の学校副理事長。
共著に「土木デザイン ヒト・まち・自然をつなぐ仕事」、
「風景とローカルガバナンス」など

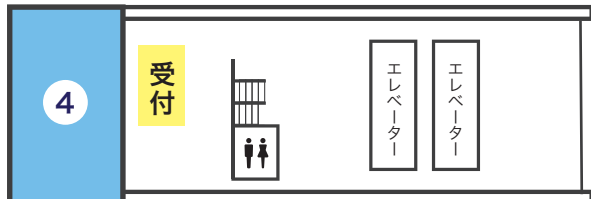
会場案内

※特別講演は、中央合同庁舎3号館 10 階で行います。収容人数の関係上、事前参加申込をお願いいたします。

● 11月27日（木）・28日（金） 2号館低層棟会議室



● 11月28日（金）15:00～ 3号館 10階共用会議室（D会場）【特別講演・表彰式】



＜3号館 10 階へお越し頂く際の注意事項＞

- ・ 10 階に止まるエレベーターは限りがあります。
- ・ 多くの方が一斉に移動することが想定されますので、時間に余裕をもって移動頂きますようお願いいたします。
- ・ 特別講演は収容人数の関係上、入場を制限する可能性があります。

受付について

発表者と CPD 申請をされた方のみ受付をお願いします。
発表者は、ご自身の発表セッションが始まる 15 分前までに受付をお済ませください。

- ・ 11月27日（木）：2号館低層棟会場（A-C会場）入口にて、9:15 から受付開始
- ・ 11月28日（金）：自由課題 / 2号館低層棟会場（A-C会場）入口にて、9:15 から受付開始
- ・ 11月28日（金）：特別講演 / 3号館 10 階特別共用会議室（D会場）入口にて、14:00 から受付開始

令和7年度 国土交通省 国土技術研究会 プログラム

1日目(11月27日(木))				2日目(11月28日(金))			
研究発表会場				研究発表会場			特別講演会場
会場	A 2号館共用会議室2A・2B	B 2号館共用会議室3A・3B	C 2号館共用会議室5	会場	A 2号館共用会議室2A・2B	B 2号館共用会議室3A・3B	D 3号館10階共用会議室
区分	○自由課題 ・一般部門(安全・安心Ⅰ) ・一般部門(安全・安心Ⅱ) ※SBIR建設技術研究開発 助成制度成果報告含む	○自由課題 ・イノベーション部門Ⅰ ・イノベーション部門Ⅱ ※SBIR建設技術研究開発 助成制度成果報告含む	○自由課題 ・一般部門(活力) ・アカウンタビリティ部門 ※SBIR建設技術研究開発 助成制度成果報告含む	区分	○自由課題 ・一般部門(安全・安心Ⅱ) ※SBIR建設技術研究開発 助成制度成果報告含む ○各局等提案課題	○自由課題 ・イノベーション部門Ⅱ ○各局等提案課題	○特別講演 ○表彰式
9:00	9:15～ 受付開始			9:00	9:15～ 受付開始		
10:00	A1 9:45～10:45 一般部門 (安全・安心Ⅰ) ・審査課題:4本	B1 9:45～10:45 イノベーション部門Ⅰ ・審査課題:4本	C1 9:45～10:45 一般部門(活力) ・審査課題:3本 ・報告課題:1本	10:00	A7 9:45～10:45 一般部門 (安全・安心Ⅱ) ・審査課題:3本 ・報告課題:1本	B7 9:45～10:45 イノベーション部門Ⅱ ・審査課題:4本	
	休憩(15分)		休憩(15分)		休憩(15分)		
11:00	A2 11:00～12:00 一般部門 (安全・安心Ⅰ) ・審査課題:4本	B2 11:00～12:00 イノベーション部門Ⅰ ・審査課題:4本	C2 11:00～12:00 一般部門(活力) ・審査課題:3本 ・報告課題:1本	11:00	A8 11:00～12:00 一般部門 (安全・安心Ⅱ) ・審査課題:3本 ・報告課題:1本	B8 11:00～12:00 イノベーション部門Ⅱ ・審査課題:4本	
12:00				12:00			
13:00	A3 13:00～14:15 一般部門 (安全・安心Ⅰ) ・審査課題:4本 ・報告課題:1本	B3 13:00～14:15 イノベーション部門Ⅰ ・審査課題:4本 ・報告課題:1本	C3 13:00～14:15 一般部門(活力) ・審査課題:4本 ・報告課題:1本	13:00	A9 13:00～14:00 各局等提案課題 2本	B9 13:00～14:00 各局等提案課題 2本	
	休憩(15分)		休憩(15分)		休憩(15分)		
14:00	A4 14:30～15:45 一般部門 (安全・安心Ⅰ) ・審査課題:4本 ・報告課題:1本	B4 14:30～15:45 イノベーション部門Ⅰ ・審査課題:4本 ・報告課題:1本	C4 14:30～15:45 アカウンタビリティ部門 ・審査課題:4本 ・報告課題:1本	14:00			14:00～ 受付開始
15:00	休憩(15分)		休憩(15分)	15:00			15:00～16:00 特別講演
	A5 16:00～17:00 一般部門 (安全・安心Ⅱ) ・審査課題:4本	B5 16:00～17:00 イノベーション部門Ⅱ ・審査課題:4本	C5 16:00～17:00 アカウンタビリティ部門 ・審査課題:3本 ・報告課題:1本				
16:00	休憩(15分)		休憩(15分)	16:00			16:05～16:35 表彰式
	A6 17:15～18:15 一般部門 (安全・安心Ⅱ) ・審査課題:4本	B6 17:15～18:15 イノベーション部門Ⅱ ・審査課題:4本	C6 17:15～18:15 アカウンタビリティ部門 ・審査課題:4本				
17:00	休憩(15分)		休憩(15分)	17:00			16:35～16:50 受賞者記念撮影
18:00				18:00			

A会場						
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属 発表者名
一般部門 (安全・安心Ⅰ)	A1	1	審査課題	9:45～10:00	大沼トンネル避難坑の施工について	北海道開発局 港湾空港部 港湾計画課 宮澤 駿
		2		10:00～10:15	流域治水認知拡大のための住民参加型出前講座の取り組みについて	東北地方整備局 仙台河川国道事務所 流域治水課 三原 魁人
		3		10:15～10:30	地質リスクを考慮した道路災害復旧案の検討について	近畿地方整備局 奈良国道事務所 奈良南部災害復旧対策出張所 冷水 孝太郎
		4		10:30～10:45	橋樑上部工点検用ROV/ASVとその運用支援技術の開発	国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所 インフラDX研究領域 メタロボティクス研究グループ 田中 敏成
	A2	5	審査課題	11:00～11:15	メンテナンスに優れた橋梁伸縮装置の研究開発について	福井県 産業労働部 工業技術センター 建設技術研究部 林 泰正
		6		11:15～11:30	オーバートーリズム渋滞に対する社会実験の試行及び対策工の効果	山梨県 企業局 早川水系発電管理事務所 中沢 翔太
		7		11:30～11:45	地区全体を対象とした耐震改修による復興枠組みの提案～BBBから改修中心へ～	国立研究開発法人 建築研究所 所付 片山 耕治
		8		11:45～12:00	九州地方整備局管内の道路橋定期点検結果(1・2巡目)を踏まえたメンテナンスサイクルの留意点	九州地方整備局 九州道路メンテナンスセンター 萩原 頼徳
	A3	9	審査課題	13:00～13:15	木下川排水機場の耐震化について	東京都 建設局 江東治水事務所 特定施設建設課 福永 龍佑
		10		13:15～13:30	解釈可能AIを用いた木造建築物多目的最適化設計に向けた基礎的研究	国立研究開発法人 建築研究所 材料研究グループ 難波 宗功
		11		13:30～13:45	氾濫シナリオ別水害ハザード指標分布を用いた地域の脆弱性評価に関する研究	国土技術政策総合研究所 河川研究部 水害研究室 大野 純暉
		12		13:45～14:00	無信号横断歩道における歩行者及び車両の挙動分析と対策の方向性	四国地方整備局 道路部 道路計画課 三嵩 晃平
		13		14:00～14:15	【SBIR建設技術研究開発助成制度成果報告】 ICTによる潜水士の労働負荷の実態把握と労務最適化による生産性向上に関する実証研究	星薬科大学 児玉耕太 薩山逸行
	A4	14	審査課題	14:30～14:45	小開口付き面材耐力壁のせん断性能に関する研究	国土技術政策総合研究所 建築研究部 材料・部材基準研究室 酒井 優太
		15		14:45～15:00	吉野川水系における流域治水の自分事化に向けた取り組み ～洪水と水害の「動どころ」作成～	四国地方整備局 徳島河川国道事務所 流域治水課 高野 稜馬
		16		15:00～15:15	恵那市街地の水害軽減に向けた取り組み ～阿木川ダム下流残流域の流出特性～	独立行政法人水資源機構 木曽川上流ダム総合管理所 管理課 向井 健朗
		17		15:15～15:30	旭川水系における既存ストックの有効活用検証	中国地方整備局 岡山河川事務所 開発調査課 福井 文菜
		18		15:30～15:45	【SBIR建設技術研究開発助成制度成果報告】 液化炭酸ガスと3次元曲リボーリングを組み合わせた地盤凍結システムの高度化に関する研究	ケミカルグラウト株式会社 相馬 啓

A会場						
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属 発表者名
一般部門 (安全・安心Ⅱ)	A5	1	審査課題	16:00～16:15	肱川流域(水防災)緊急対応タイムラインの取組 ～水害の教訓から流域が一体となった防災対応を目指して～	四国地方整備局 大洲河川国道事務所 工務第一課 北島 瑛介
		2		16:15～16:30	寺内ダム再生事業 非常用洪水吐きゲート設備の改造	独立行政法人水資源機構 筑後川上流総合管理所 設備課 徳田 克也
		3		16:30～16:45	模型やボードゲーム活用の体験型学習による地域防災力向上の取組について	長野県 安曇野建設事務所 整備課 手塚 凱斗
		4		16:45～17:00	大谷トンネルの被災状況と応急復旧について	北陸地方整備局 能登復興事務所 工務第三課 高井 静也
	A6	5	審査課題	17:15～17:30	4脚4輪走行式油圧ショベルによる能登半島地震被災現場対応について	国土技術政策総合研究所 社会資本マネジメント研究センター 社会資本施工高度化研究室 矢野 祥吾
		6		17:30～17:45	輪荷重走行試験を活用した床版の土砂化進展予測に関するケーススタディ	寒地土木研究所 寒地基礎技術研究グループ 寒地構造チーム 角間 恒
		7		17:45～18:00	3D都市モデル(PLATEAU)を活用した“動く”水害リスク情報による水災害の自分事化	北陸地方整備局 信濃川河川事務所 流域治水課 下村 魁晟
		8		18:00～18:15	ETC2.0を用いた渋滞情報提供の精度向上に関する取組	本州四国連絡高速道路株式会社 本州保全部 電気通信課 入江 桃子

SBIR建設技術開発助成制度とは

国や地域の諸課題(地球温暖化、社会インフラの老朽化、少子高齢化等)の解決に資するための技術開発テーマを国土交通省が示し、そのテーマに対し民間企業や大学等の先駆的な技術開発提案を公募し、優れた技術開発を選抜し助成する競争的資金制度です。
令和6年度に実施された研究開発等の成果について報告します。

B会場							
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属	発表者名
イノベーション部門Ⅰ	B1	1	審査課題	9:45～10:00	除雪支援システムについて	岩手県盛岡広域振興局土木部 岩手土木センター 道路河川整備課	菊地 和久
		2		10:00～10:15	工事監督業務における生成AIの活用検討について	滋賀県 南部土木事務所 道路計画第二課	太田 宏生
		3		10:15～10:30	屋内無線LANの整備とデータ通信の高速化の検討	関東地方整備局 関東技術事務所 品質調査課	渡部 大輔
		4		10:30～10:45	SLAM技術を活用した効率的な河川管理について	中国地方整備局 岡山河川事務所 管理課	長屋 明里
	B2	5	審査課題	11:00～11:15	CSGダムにおける規格外フライアッシュの活用について	東北地方整備局 成瀬ダム工事事務所 工事課	小田島 嵩
		6		11:15～11:30	ダム建設現場におけるi-Construction 2.0～足羽川ダムの挑戦～	近畿地方整備局 足羽川ダム工事事務所	桑 純司
		7		11:30～11:45	品川における重層的な制約条件下での国道上空の交通広場デッキの設計について	関東地方整備局 東京国道事務所 交通ターミナル整備課	岩柳 智之
		8		11:45～12:00	松沢川第2砂防堰堤におけるICT施工の取り組み	中部地方整備局 富士砂防事務所 調査課	船橋 良太
	B3	9	審査課題	13:00～13:15	樋門改築工事におけるBIM/CIM技術の有効活用事例と課題について	北海道開発局 札幌開発建設部 千歳川河川事務所 第2工務課	大塚 康平
		10		13:15～13:30	大崎出張所管内におけるUAVを用いた河川巡視の試行について	東北地方整備局 北上川下流河川事務所 大崎出張所	太田 なお子
		11		13:30～13:45	徳島河川国道事務所における皆で早くお家に帰ろうプロジェクトの取り組み	四国地方整備局 香川河川国道事務所 工務第二課	岡井 大三郎
		12		13:45～14:00	トンネル内面調査の省人化・効率化に向けた実証試験	独立行政法人水資源機構 総合技術センター水路グループ	小林 志歩
	B4	13	報告課題	14:00～14:15	【SBIR建設技術研究開発助成制度成果報告】 長期保証を見据えた地方建設会社による効率的な路面情報管理技術の構築 ―動画を活用した路面評価手法『路面情報カルテ』の開発―	株式会社 建設IoT研究所	可児 憲生
		14	審査課題	14:30～14:45	XAI(Explainable AI)による道路附属物点検の高度化 ―北大との連携協定に基づくインフラ管理のイノベーション「NORTH-AI/Eye」の推進―	北海道開発局 小樽開発建設部 小樽道路事務所	今西 将也
		15		14:45～15:00	のり面に繁茂した外来種「ヨシススキ」対策について	中部地方整備局 紀勢国道事務所 管理第二課	藤井 秀一郎
		16		15:00～15:15	水中ロボを活用した棧橋式岸壁における効率的な点検手法の検討	四国地方整備局 高松港湾空港技術調査事務所 調査課	中澤 祐飛
		17		15:15～15:30	長大トンネルへの坑内Wi-Fi導入による費用対効果の検証と総括	独立行政法人水資源機構 水路事業部設計課	渡辺 樹也
		18	報告課題	15:30～15:45	【SBIR建設技術研究開発助成制度成果報告】 GEOTETS工法(土留材引抜同時充填工法)を活用した環境保全技術の開発	株式会社CivilAssist	西 靖彦

B会場							
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属	発表者名
イノベーション部門Ⅱ	B5	1	審査課題	16:00～16:15	最先端技術を体験出来る「中国インフラDXセンター」の開設と運営	中国地方整備局 中国技術事務所 品質調査課	小柳 忠史
		2		16:15～16:30	ドローン点群データによる道路施設管理	中部地方整備局 静岡国道事務所 管理第二課	加藤 歆大
		3		16:30～16:45	梯川水系における内外水統合型水害リスクマップの検討について	北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 流域治水課	徳坂 文音
		4		16:45～17:00	暴風雪・大雪時の災害デジタルアーカイブを用いた道路管理判断支援システムの試作	寒地土木研究所 寒地道路研究グループ 雪氷チーム	原田 裕介
	B6	5	審査課題	17:15～17:30	徳山ダム・横山ダム連携による水位運用高度化の取組	独立行政法人水資源機構 揖斐川・長良川総合管理所	石黒 順司
		6		17:30～17:45	電子基準点リアルタイム解析システム(REGARD)の役割と発展	国土地理院 測地観測センター 電子基準点課	橋本 萌未
		7		17:45～18:00	令和6年能登半島地震後の道路橋点検における点検支援技術の試行と検証	国立研究開発法人 土木研究所 構造物メンテナンス研究センター	小林 巧
		8		18:00～18:15	空港(土木施設)のBIM/CIMの取り組みについて	国土技術政策総合研究所 空港研究部 空港施工システム室	久保田 阜

C会場						
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属 発表者名
一般部門 (活力)	C1	1		9:45～10:00	道路空間を活用したEV路上カーシェアリング社会実験における効果検証(中間報告)	近畿地方整備局 浪速国道事務所 計画課 中世古 蓮汰
		2	審査課題	10:15～10:30	効果的な合意形成を目指して ～BIM活用の検証と営繕事業の円滑化～	関東地方整備局 営繕部 整備課 小野塚 裕
		3		10:30～10:45	全国都市交通特性調査データを活用したアクティビティ・ベースド・シミュレータ(ABS)の開発と活用	国土技術政策総合研究所 都市研究部 都市施設研究室 小笠原 裕光
		4	報告課題	10:45～11:00	【SBIR建設技術研究開発助成制度成果報告】 カーボンニュートラルに資する火山ガラス微粉末コンクリートの実用化研究	金沢工業大学 工学部 環境土木工学科 花岡 大伸
	C2	5		11:00～11:15	歴まち都市への誘客に向けた観光連携事業～歴史と観光をつなぐ2つの要素～	中部地方整備局 建設部 計画管理課 深谷 有沙
		6	審査課題	11:15～11:30	縦型密閉発酵槽を用いた下水汚泥の肥料化、エネルギー化技術実証と導入効果検討	国土技術政策総合研究所 上下水道研究部 下水処理研究室 青葉 隆仁
		7		11:30～11:45	企業のリクルート活動に着目した産官学協同の渋滞緩和プロジェクト松江Good Morning Projectについて	中国地方整備局 松江国道事務所 計画課 桃住 蓮太
		8	報告課題	11:45～12:00	【SBIR建設技術研究開発助成制度成果報告】 非構造部材を含めたBIMからFEMへの汎用変換システムの開発と検証	東京大学 浅井 竜也
	C3	9		13:00～13:15	次世代自動車の普及を見据えた走行時の二酸化炭素排出係数の試算	国土技術政策総合研究所 道路交通研究部 道路環境研究室 根津 佳樹
		10	審査課題	13:15～13:30	マンション等を対象とした外装仕上材の劣化度判定支援AIの開発	国立研究開発法人 建築研究所 材料研究グループ 中田 清史
		11		13:30～13:45	国道41号名濃バイパス6車線化による整備効果	中部地方整備局 愛知国道事務所 計画課 澤 圭斗
		12		13:45～14:00	九州初の「道路シールドトンネルの中間報告(市街地部を通過)」～鹿児島3号東西道路シールドトンネル(下り線)新設工事～	九州地方整備局 鹿児島国道事務所 工務課 樋口 昌宏
		13	報告課題	14:00～14:15	【SBIR建設技術研究開発助成制度成果報告】 木材入りCFT部材の開発とその実用化	長崎大学 中原浩之

C会場						
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属 発表者名
アカウント ビリティ部門	C4	1		14:30～14:45	アイヌ文化振興に資する河川整備の取組	北海道開発局 札幌開発建設部 夕張川ダム総合管理事務所 管理課 橋本 武幸
		2	審査課題	14:45～15:00	地域や観光に配慮した公共工事 ～建設業における「おもてなし」の心～	山形県村山総合支庁 建設部 西村山道路計画課 小山 祐伍
		3		15:00～15:15	都市河川における不法投棄Oをめざした多面的なソフト対策について～事務所と出張所 1年間の奮闘～	近畿地方整備局 淀川河川事務所 福島出張所 伊豆野 史皇子
		4		15:15～15:30	災害に立ち向かう「空の眼」九州地整UAV登録講習機関設立と挑戦	九州地方整備局 九州技術事務所 総務課 山本 伸也
		5	報告課題	15:30～15:45	【SBIR建設技術研究開発助成制度成果報告】 職人と小型ロボットが協働する新しい湿式施工法の開発	京都工芸繊維大学デザイン・建築学系 村本真
	C5	6		16:00～16:15	留萌地域における「ほっかいどう学」の実践と今後の展望	北海道開発局 留萌開発建設部 道路計画課 堀田 孝也
		7	審査課題	16:15～16:30	首里城正殿の「見せる復興」 ～今しか見られない復元現場のPR～	沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所 首里出張所 内間 安朗
		8		16:30～16:45	「おかこくぼっけえ教え隊！」の活動報告	中国地方整備局 岡山国道事務所 交通対策課 西海 こころ
		9	報告課題	16:45～17:00	【SBIR建設技術研究開発助成制度成果報告】 「改良前後の地盤の耐震性能評価ができる原位置繰返しプレッシャーメータ試験の実用化」	川崎地質(株) 黒間 基樹
	C6	10		17:15～17:30	白川ダムのオープン化と地域の活性化	東北地方整備局 最上川ダム統合管理事務所 白川ダム管理支所 相馬 宏丞
		11	審査課題	17:30～17:45	建設産業の魅力向上に向けたインフルエンサーとの協働～オフィシャル広報パートナー制度～	四国地方整備局 企画部 企画課 高橋 加奈子
		12		17:45～18:00	「苦情」から「協力」へ！～VSPを活用した地域連携～	関東地方整備局 宇都宮国道事務所 管理第一課 三野 将明
		13		18:00～18:15	3次元モデルを用いた用地境界立会いについて	長野県 建設部 河川課 諏訪 有祐

A会場						
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属 発表者名
一般部門 (安全・安心Ⅱ)	A7	9	審査 課題	9:45～10:00	大規模災害を想定した関係機関との合同訓練	九州地方整備局 宮崎河川国道事務所 防災課 西 晃希
		10		10:00～10:15	山岳トンネルの変状の診断精度向上に向けた施工時情報の活用と引継ぎ	国立研究開発法人土木研究所 道路技術研究グループ(トンネル) 菊地 浩貴
		11		10:15～10:30	長時間(168時間)運転可能な簡易型非常用発動発電装置について	沖縄総合事務局 南部国道事務所 防災情報課 内間 航一郎
		12		10:30～10:45	【SBIR建設技術研究開発助成制度成果報告】自治体間で円滑に横展開可能な共同利用型の地域デジタルツインの開発	一般社団法人 社会基盤情報流通推進協議会 関本 義秀
	A8	13	審査 課題	11:00～11:15	名古屋国道管内初！スムーズ横断歩道の整備とその効果	中部地方整備局 名古屋国道事務所 交通対策課 堤 悠大
		14		11:15～11:30	サザンゲートブリッジRC床板における詳細調査および補修方法の検討	沖縄総合事務局 石垣港湾事務所 工務課 後上里 友晴
		15		11:30～11:45	災害リスク情報を企業活用へ～白川水害リスクマップ公表の取り組みと活用事例～	九州地方整備局 熊本河川国道事務所 流域治水課 齊木 愛菜
		16		11:45～12:00	【SBIR建設技術研究開発助成制度成果報告】建物のライフサイクルマネジメントを目的とした3次元点群データを用いたBIMデータ自動構築システムの開発	株式会社エリジオン 渡辺友彦

A会場						
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属 発表者名
各局等 提案課題	A9	1		13:00～13:30	日本の現場力、世界へ。～ウクライナ覆工に挑む遠隔施工～	国土交通省 大臣官房 参事官(イノベーション)グループ 国土交通省 総合政策局 海外プロジェクト推進課 中根 亨 松尾 健二
		2		13:30～14:00	PODIに基づく縮約モデルの適用とそのAIC の提案 ―重力式岸壁の2D地震応答解析への適用性評価―	港湾空港技術研究所 地震防災研究領域 地震動研究グループ 福永 勇介

B会場						
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属 発表者名
イノベ ーション部門 Ⅱ	B7	9	審査 課題	9:45～10:00	ごみ処理施設(宮ノ陣・上津CC)で発電した電力の地産地消について	久留米市 環境部 施設課 鹿田 大貴
		10		10:00～10:15	地図作成における高分解能光学衛星画像の利用可能性	国土地理院 基本図情報部 地図情報技術開発室 神山 優惠
		11		10:15～10:30	UAV自律飛行を活用した手取川流域における砂防施設等の点検手法の構築	北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 流域対策課 中野 光
		12		10:30～10:45	主ケーブル外装モニタリングシステムの開発	本四高速道路ブリッジエンジニア株式会社 技術事業本部 技術開発部 技術3課 大淵 慶大
	B8	13	審査 課題	11:00～11:15	AI技術を用いたCo吹付法面及び橋梁の健全度診断に関する技術手法について	北陸地方整備局 能登復興事務所 計画課 長谷部 佑太
		14		11:15～11:30	「だいち4号」を活用した地殻・地盤変動監視と地盤沈下調査への活用に向けた取組	国土地理院 測地部 宇宙測地課 室山 怜太郎
		15		11:30～11:45	沖縄管内における物流推進の検討	沖縄総合事務局 開発建設部 港湾計画課 山田 廉太郎
		16		11:45～12:00	床版コンクリート耐久性確保の取り組み	東北地方整備局 岩手河川国道事務所 工務第二課 瀬倉 英

B会場						
部門	セッション	発表 順序	課題 区分	発表時間	課題名	発表者所属 発表者名
各局等 提案課題	B9	3		13:00～13:30	下水道等に起因する大規模な道路陥没事故を踏まえた管路マネジメントの動向や方向性等について	国土交通省(上下水道審議官グループ)大臣官房参事官(上下水道技術)付 辻 亮水
		4		13:30～14:00	群マネ、知ってる？新たなヒーローは動いている	国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 伊藤 瑞基

D会場		
15:00～16:00	【特別講演】 早稲田大学教授 土木学会第112代会長 佐々木 葉 様 「インフラの広がりと風景」	
16:05～16:35	【表彰式】	
16:35～16:50	受賞者記念撮影	